

20081

BioFreedom 留置後、早期に再狭窄を来した 1 例の OCT 所見

高齢化が進んでいる中で、High Bleeding Risk (HBR) 患者に対する PCI の症例も増えると考えられる。HBR 患者で問題となるのが抗血小板剤の内服期間であるが、BioFreedom Stent は抗血小板剤 2 剤の期間が 1 ヶ月でも良好な成績が報告されており、HBR 患者における stent の選択肢が広がった。動物実験での前臨床評価では、塗布されている Biolimus A9 が内膜増殖を抑制し、Cypher stent で認めるポリマー炎症に夜 6 ヶ月後のリバンド再狭窄がない事が証明されている。実際に LEADERS FREE JAPAN では TLR:1.44%と良好な成績であった。当院においては 2018 年 1 月から同 stent を使用し、2019 年 1 月までで 12 症例の HBR 患者に使用している。6 ヶ月の時点でフォローアップの冠動脈造影検査を施行しているが、1 例に TLR を認めた。同患者において OCT 施行した結果、stent 内に layered pattern の内膜増殖を認めた。同様な報告はこれまで少なく、早期に再狭窄をきたした症例であり、示唆に富む症例と考えられここに報告する。